

1位
660ポイント

ゼログラ

(ZER2088—66)



柔らかい取っ手、高い静音性

2001年創業のかばんメーカー、シフレ（埼玉県越谷市）の独自ブランド。18年に発売した、軽さで人気のシリーズ。部品ひとつひとつを見直し、上位10位中、樹脂製では唯一4輪を切った。そんなカタログデータ以上に軽く感じる設計の妙が評価を集めた。
丈夫なポリカーボネート樹脂を100%使った軽量樹脂タイプの新設計のひとつ。柳克己さんは「重く感じないのは柔らかい取っ手の効果もある」と指摘する。ポリウレタン製のふわふわした触感で、長時間握っていても手が痛くなく、く。
キャスター（車輪）は静音性の高さに定評のある日乃本錠前（東

京・北）製を早くから採用。「走行音がとにかく静か。夜間の帰宅時や海外の石畳で効果を発揮しよう」（奥家慎二さん）
最近のトレンドは車輪を2個セットにした走行安定性の高い双輪仕様だが、静音性を重視し1輪仕様になっている。
高級車のように鈍い輝きを放つマット加工の外観も高評価を得た。ファスナーはスムーズで操作にストレスが少ない。一方で「鍵が不要なダイヤルロック式でないのが残念」との声もあった。
①税込み価格 3万800円②高さ71×幅51×奥行き32cm③重量3.6kg④容量 105ℓ⑤問い合わせ先電話番号 0120・420・994

4位以下は2面に

いざ海外旅行！大型スーツケースで

何でも
ランキング

新型コロナウイルス禍が落ち着き、「今年こそ夏休みに海外旅行を」と考えている人もいるのでは。1週間以上の旅行に便利な、使い勝手のよい大さめのスーツケースを専門家が選んだ。

2位
590

トラベライト

(スカイ トロリーL) 圧倒的な軽さ



「圧倒的な軽さ」と評するのは飛田直哉さん。今春日本に本格上陸したドイツブランドの製品だ。再生ポリエステル繊維と独自構造のフレームを採用し、2.9kgとランキング上位10位中随一の軽さを実現した。
日本では樹脂製のハード型が主流だが、欧米では化学繊維製のソフト型に根強い人気がある。表地、裏地とも再生繊維を使い、軽量化と地球環境への配慮を両立した。ソフト型ならではのフロントオープン方式も好評だった。蓋を小型冷蔵庫のような片開きにするので、中央から左右に観音開きにするタイプより、狭い場所で荷物が出し入れできる。
荷物が増えた場合に容量を拡張する機能もある。「正面の隠しポケットなど外側の収納も充実している」（小原聖雄さん）
①2万9700円②78×47×30～34cm（拡張時は国際線無料預け入れ不可の可能性あり）③2.9kg④91～98ℓ⑤03・6265・0030

3位
550

プロテカ

(スタリアCXR 02354) 収容力と鮮やかなデザイン魅力



かばん大手エース（東京・渋谷）が展開する高級ブランド「プロテカ」の23年モデル。「収容力や使い勝手、デザインなど全方位に気配りした完成度の高さ」（小谷野明子さん）を評価する専門家が多かった。
高さ・幅・奥行きのバランスを見直して実現した103%の収容力や、鏡面仕上げで鮮やかな色合いの外装が好評。特殊なベアリングで動きを滑らかにした静音キャスターや、電車内などで勝手に転がるのを防ぐ特許取得のストッパーも使いやすい。
メーカー保証では対象外になる

ことが多い航空会社の取り扱いが原因の破損でも、無償で3年間修理などに応じるサポートを評価する声も多かった。
①8万3000円②68×54×35cm③4.9kg④103ℓ⑤03・5843・0606

今週の専門家

▽太田彩子（「営業部女子課」主宰）▽奥家慎二（「モノマックス」編集長）▽小原聖雄（渋谷ロフト バッグ&トラベル担当）▽小林葉子（全日本空輸 客室乗務員）▽小谷野明子（トニー有楽町店 店長）▽柳克己（東京デリカ商品部）▽佐藤明日子（JTBロイヤルロード 銀座 コンシェルジュ）▽佐藤宏樹（ハンズ バイヤー）▽飛田直哉（NH WATCH社長）▽前田賢紀（「モノ・マガジン」編集長）▽三田栄子（近畿日本ツーリスト 添乗員）▽三好恵子（日本航空 客室乗務員）＝敬称略、五十音順

許諾番号30094247 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。